

「関西の活かしたい自然エリア6（琵琶湖・淀川水系） エコツアー」概要

○エコツアーの目的

複数の府県域をまたぐ地域で、自然観察、自然の恵みの気付き等を目的とするツアーを実施することにより、「関西の活かしたい自然エリア」が行政、旅行会社、活動団体等に活用される足がかりとする。

○開催日

平成 29 年（2017 年）2 月 1 日（水）

○参加者

25 名（旅行会社 4 名、活動団体 4 名、研究者 4 名、自治体 7 名、事務局 6 名）

○目的地・スケジュール

時間	目的地等	所在地	テーマ
9:10 発	南草津駅	滋賀県草津市	
9:40 着 10:55 発	琵琶湖博物館	滋賀県草津市	琵琶湖の生態系について
11:20 着 12:30 発	あやめ荘 NPO 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市	琵琶湖の湖魚料理等（昼食） 琵琶湖の環境や歴史について
13:20 着 13:55 発	瀬田川洗堰 （水のめぐみ館アクア琵琶）	滋賀県大津市	琵琶湖・淀川の治水、 自然環境の歴史
15:00 着 15:55 発	鶴殿のヨシ原	大阪府高槻市	鶴殿の歴史・自然・生態系の説明 ヨシと人の暮らしの関わり
16:25 着 17:25 発	大阪府立環境農林水産総合 研究所 水生生物センター	大阪府 寝屋川市	淀川の生態系等 ヨシ笛づくり
17:55 着	大阪駅	大阪市	



関西の活かしたいエリア6（琵琶湖・淀川水系）

○ツアーの様子

1. 琵琶湖博物館



講義内容



水族展示物



琵琶湖・淀川水系の床面地図

セミナー室で、琵琶湖博物館の学芸員から生物多様性、関西の活かしたい自然エリア、本ツアーの目的、博物館の役割等を解説。

その後、水族展示を見学しながら、博物館の展示物やエコツアーでの活用方法について解説。

2. あやめ荘

あやめ荘で琵琶湖の湖魚料理(小鮎煮、うろり、えび豆、鮒寿司、わかさぎの天ぷら、しじみ汁等)をいただいた。食事後、NPO 法人家棟川流域観光船の松沢様より、琵琶湖の漁の移り変わり、観光船の紹介、家棟川のみどころ等の説明を受けた。



あやめ荘 湖魚料理



NPO 法人家棟川流域観光船

3. 瀬田川洗堰（水のめぐみ館アクア琵琶）

水のめぐみ館アクア琵琶の映像ホールで、琵琶湖河川事務所の今中様から、琵琶湖・淀川水系の水害・治水の歴史、洗堰の建設目的と水位調節の説明を受けた。その後、展示コーナーを見学し、治水事業や生態系保全に配慮した水位調節のパネルを前に解説を聞いた。



映像ホールでの講演



展示コーナー

4. 鵜殿のヨシ原

鵜殿に到着後、バスの車中と屋外で淀川河川事務所から鵜殿の自然環境、ヨシ原保全事業の説明を受けた。その後、淀川河川レンジャーの実演指導のもと、参加者全員がヨシ刈を体験した。その後、バス車内で、ヨシと人の暮らし(文化・産業)との関係の説明を聞き、箏楽の生演奏を鑑賞した。



ヨシ原保全事業地



ヨシ刈り体験

5. ヨシ笛づくり

水生生物センターの研修室で、参加者は4つの班に分かれ、淀川河川レンジャーの方々の説明を受け、ヨシ笛作りに励んだ。30分程度の時間であったが、概ね音が鳴る笛に仕上がっていた。



ヨシ笛工作

6. 水生生物センター

水生生物センターより、敷地内のビオトープや池の紹介と利用実績の説明を聞いた後、展示室で淀川水系に生息している水生生物（イタセンパラ）を見学した。その後、水生生物センターが行っている研修内容やイベントについての説明を聴講した。



屋外施設の紹介



イタセンパラの見学



研修室での講演